

地域包括ケアシステムの推進に向けて

高齢期の住まいと住まい方 ～暮らしを支えるために持つべき視点～

地域包括ケアシステムを推進するには、その基礎となる住まいと、対象者の暮らしぶりを理解して実践していくことが重要です。少し掘り下げて対象者を知ること、相互に親近感が湧き、良好な関係を長く保つことができるようになります。

今回は、高齢者居住施設や在宅介護の現場に精通した講師をお招きし、対象者の望む「その人らしい暮らし」について講演いただきます。高齢期の住まいと、相手の人となりを知るためのヒントや備えておきたい五つの力を学びましょう。

後半では、職種や所属先の違う参加者の方でテーブルを囲み、ワークショップも予定しています。

・ 例えばこんな悩みはありませんか？ ・ こんな方におすすめです！

- 行政機関の方：独居、老老世帯、認知症の人の安全・安心な暮らしとは？
- 病院施設の方：退院退所支援の際に「その人らしい生活」のイメージが湧きづらい・・・
- 在宅支援者の方：本人の「したい、やりたい」に上手く結び付けられていない・・・

日時 平成31年1月14日（月祝） 10:00 ～ 15:30 （9：30受付開始）

場所 総合リハビリテーションセンター 管理棟3階研修室
(〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070)

講師 **矢作 聡 氏**
福祉環境アドバイザー

やはぎ あきら

〈略歴〉

総合住宅展示場の企画・運営業務に14年間従事。
外山義氏（建築家 個室によるユニットケアやグループホームの制度化を推進）、高橋公子氏（建築家:終の棲家を世の中に提唱）との出会いを経て、高齢者や障がい者の住まいづくりに関心を持ち独立。
社会的弱者に関する研修・アドバイザー業務実績・・・
人事院、長寿社会文化協会、パナソニック、LIXIL、旭化成ホームズ、全日空、NEXCO 中日本など

対象 行政・医療・介護分野
に関わりのある方

定員 100名（先着順） 受講料 無 料

申込方法 下記URLまたはQRコードよりお申込下さい（1月9日（水）〆切）

<https://www.kokuchpro.com/event/zenken0114/>



※【PT・OT・STの方へ】当研修は、兵庫県及び全県リハ支援センターが作成しております【地域リハビリテーション活動支援事業協力可能者名簿】への掲載のための人材育成研修の対象になります。

【お問い合わせ】兵庫県地域リハビリテーション支援センター 担当：安尾 相見

TEL：078（927）2727

Mail: hyogo.cbr_center@hwc.or.jp